

# コールドチェーン物流のASEAN地域への展開と国際標準化

---

国土交通省 総合政策局  
国際物流課

ASEANにおけるグリーン物流の推進及び質の高いコールドチェーン物流の促進に向け、日ASEAN交通連携(AJTP)の枠組の下、物流専門家会合を開催

- ◆ 開催日時：2017年2月23日
- ◆ 開催場所：マレーシア・クアラルンプール
- ◆ 参加者：マレーシア（共同議長国）、カンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、ベトナムの政府関係者、アセアン事務局、ドイツ開発公社、日本、日系物流団体 等 ※ ブルネイ、タイは都合により欠席

### ASEANにおけるグリーン物流の推進

#### <背景>

ASEANにおけるグリーン物流推進のための「グリーン物流ビジョン・アクションプラン」策定を日本が支援、第13回日ASEAN交通大臣会合(2015年11月)にて承認



**今後の各国での実施事項・スケジュールを提案、合意**

#### <発表内容>

- ASEAN各国：自国におけるグリーン物流に関する取組状況について
- 日本：グリーン物流アクションプランに基づく具体的な取組について

#### <グリーン物流アクションプランの内容>

- グリーン物流パートナーシップ会議（仮）の開催
- グリーン物流の優良事例集の作成
- チェックリストの策定・導入

### 質の高いコールドチェーン物流の促進

#### <背景>

ASEAN各国の経済発展に伴う生活水準の向上、消費の高度化に伴い、高品質なコールドチェーン物流の構築が求められている



**「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」立上げを提案、今後ASEANの会議にて議論していくことで合意**

#### <発表内容>

- 日本の物流事業者（(株)ニチレイロジグループ本社）及びヤマトホールディングス(株)）によるコールドチェーン物流の紹介



## ASEANにおける質の高いコールドチェーン物流の促進に向け、日ASEAN交通連携(AJTP)の枠組の下、物流専門家会合を開催

- ◆ 開催日時：2017年9月6日（水）
- ◆ 開催場所：東京
- ◆ 参加者：マレーシア、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナムの政府関係者、アセアン事務局、日本、日系物流団体 等 ※ シンガポールは都合により欠席

### 質の高いコールドチェーン物流の促進

#### <背景>

経済発展に伴い生活水準の向上や消費の高度化が進んでいるASEANにおいて高品質なコールドチェーン物流網の構築の必要性が高まっている状況への対応として、日ASEAN交通連携の枠組みの下で新たなイニシアティブとして「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」を推進していくことを提案した。



本会合では、「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」を第15回日ASEAN交通大臣会合に提案することについてASEAN各国の承認を得た。

併せて、「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」の活動の1つとして「日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン」を策定することとしており、その案について議論を行い、次回の専門家会合において引き続き議論していくことが確認された。

#### <概要>

- ① (株)ニチレイロジグループ本社及びヤマトホールディングス(株)より、我が国の高品質なコールドチェーン物流サービス及び[PAS1018について紹介](#)された。
- ② ASEAN各国より、物流事業者の能力向上、交通・物流インフラ及び電力インフラの向上、政府による政策の必要性などについて、ソフト、ハードの両面から課題が指摘された。
- ③ ガイドライン案については、その策定の必要性が共有され、ASEANにおいて質の高いコールドチェーン物流の構築のため、本ガイドラインに基づいて物流事業者と政府が連携して取り組んでいく必要性について確認された。



## 背景・目的

近年、ASEANでは経済成長に伴い、食生活の多様化等、消費生活様式が変化しつつあり、コールドチェーン物流の重要性が高まっている。一方、現状は、多くの国で、安価であるが粗悪な物流サービスが提供されており、結果として、食の安全性の低下、輸送段階における食料廃棄率の高さなど、健康面及び経済面から問題が多い。

これらに対応するため、ASEAN地域のコールドチェーン物流を担う、物流事業者(倉庫、トラック等)の冷蔵冷凍保管、輸送技術のレベルアップを図ることで、官民で同地域における質の高いコールドチェーン物流の構築を推進する。

## 活動内容

### 日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインの策定

ASEAN地域のコールドチェーン物流の質の向上に向け、物流事業者及び政府に対するガイドラインを策定する。

### 人材育成

ワークショップ等を通じ、ASEAN各国政府の行政官及び物流事業者に対して人材育成を行う。

### パイロット事業

ASEAN地域において物流事業者がコールドチェーン物流を展開するためのパイロット事業を行う。

### 物流機器の普及促進

コールドチェーン物流に関する物流機器(マテハン機器)の利用の推進を図るため、ワークショップ等を通じ、冷凍・冷蔵技術の紹介、保冷機材の紹介などを行う。

## 承認までのプロセス

2017年

4月 第33回TFWG@ダナン

○新たなプロジェクトとして概要説明。

7月 第15回日ASEAN次官級交通政策会合@京都

○プロジェクトの内容を説明。  
併せて学識経験者等によるコールドチェーンに関するプレゼンを実施。

8月 第34回TFWG@フーコック

○新たな物流プロジェクトとしてコールドチェーン物流プロジェクトをTFWGとして承認。

9月 日ASEAN物流専門家会合@東京

○コールドチェーン物流プロジェクトの進め方等について専門家間で議論する。結果をTFWGメンバーに回章する。

10月 日ASEAN交通大臣会合(ATM)・次官級会合(STOM)@シンガポール

○新たな物流プロジェクトとしてコールドチェーン物流プロジェクトを次官級・大臣会合として承認。

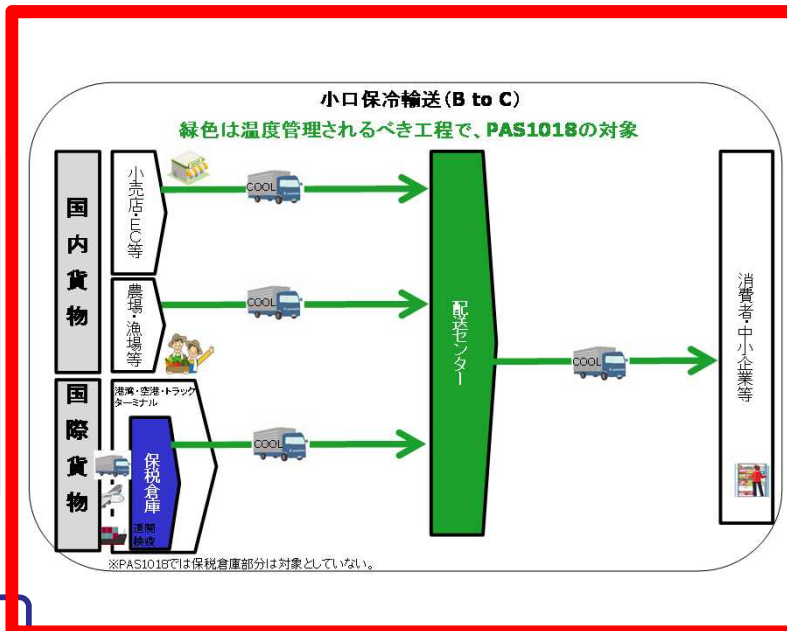
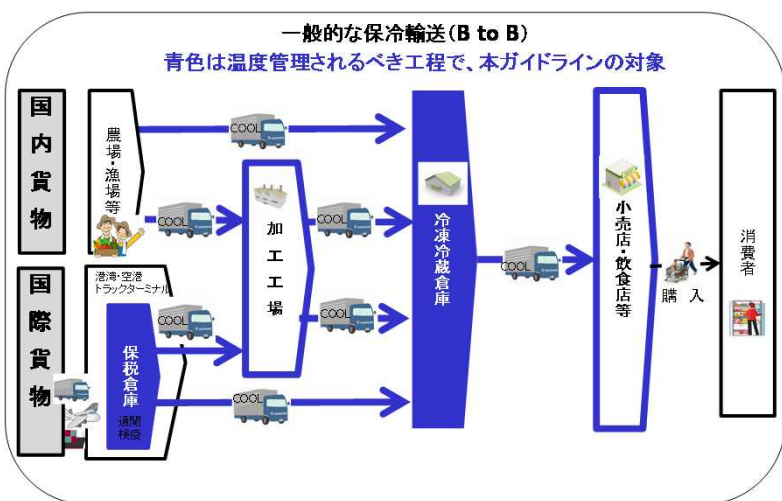


# 日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインについて

## 背景・目的

国土交通省は、ASEANにおけるコールドチェーン物流の質を向上させるため、日ASEAN交通連携に基づく「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」を推進しており、本プロジェクトにおいて、物流事業者(トラック輸送、倉庫事業)及び政府による留意事項を盛り込んだ、「日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン」を策定することとしている。なお、本ガイドラインは2018年秋の日ASEAN大臣会合の承認を目指す。

## ガイドラインの対象



## ガイドライン策定スケジュール

2017年

9月 第12回日ASEAN物流専門家会合@東京  
○コールドチェーン物流プロジェクトの進め方、ガイドライン案について議論。

10月 第15回日ASEAN交通大臣会合(ATM)・次官級会合(STOM)@シンガポール  
○新たなプロジェクトとしてコールドチェーン物流プロジェクトを次官級・大臣会合で承認。

2018年

2月 第13回日ASEAN物流専門家会合@KL  
○ガイドライン案について議論。

春 第35回ASEAN交通円滑化WG@ブルネイ  
○専門家会合の結果を共有するとともにガイドライン案について議論。

6月 第14回日ASEAN物流専門家会合@未定  
○ガイドライン案について議論。

7月 第16回次官級政策策会合@国内  
○ガイドライン案について議論

夏 第36回ASEAN交通円滑化WG@ブルネイ  
○専門家会合の結果及びガイドライン案について議論。STOM、ATMへの上程を了承。

秋 第16回日ASEAN交通大臣会合(ATM)・次官級会合(STOM)@バンコク  
○ガイドライン案を次官級・大臣会合で承認。

## ガイドラインに盛り込まれる事項(予定)

### 倉庫事業

- ・倉庫機能に適した貨物の保管
- ・倉庫内の温度の記録
- ・作業員の安全・衛生管理
- ・倉庫事業者の法令遵守
- ・マニュアル作成・人材育成
- ・倉庫建物・冷凍器のメンテナンス 等

### トラック輸送事業

- ・貨物が予冷されているかを確認
- ・トラック保冷庫に適した貨物の輸送
- ・トラック保冷庫内の温度の記録
- ・作業員の安全・衛生管理
- ・トラック事業者の法令遵守
- ・マニュアル作成・人材育成
- ・トラック・保冷庫のメンテナンス 等

### 政府

- ・関連インフラの整備
- ・支援施策の整備
- ・研修、マニュアル作成を通じた人材育成の実施
- ・消費者の意識啓発 等